

～下記の研究を行います～

『心不全患者と転倒リスクの関係性についての研究』

【研究責任者】 桂大樹 大阪医療センター 東7階 看護師

【研究の目的】 本研究では当病棟で入院されていた心不全患者の転倒転落の要因を分析し、対策を立案する。

【研究の期間】 研究許可日～2025年3月31日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

令和3年4月1日～令和5年3月31日までに、当病棟に入院し、転倒転落された心不全患者さん

●研究に用いる試料・情報の種類

試料：無

情報：診療録から以下の情報を収集します。

性別、年齢、年齢、疾患名、入院歴、入院後何日目に転倒したか、ADL、認知機能、意識レベル、排泄状況、転倒内容、転倒時間、転倒場所、受傷部位、入院環境（4人部屋/2人部屋/個室）内服薬の種類（利尿薬、眠剤他）、点滴薬の種類、看護計画、行動抑制使用の有無とその内容、デバイスの留置状況、靴・サンダル・裸足、浮腫の有無、呼吸苦の有無、他心不全症状の有無、転倒スコアのアセスメントシート、成人用転倒転落初期対応シート、インシデントレポートに挙げた要因等

【情報等収集開始予定日】 2023年9月25日

【情報等の管理責任者の氏名】 国立病院機構大阪医療センター院長 松村泰志

【研究の資金源】 なし

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI(シーオーアイ)：Conflict of Interest）とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反については、当院の利益相反審査委員会で審査され適切に管理されています。

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ◎ご希望があれば、他の患者さんの個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、情報等収集開始予定日以降でも下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。
- ◎情報等の当該研究利用の停止についてご連絡いただいた場合、それまでに収集した情報等は使用いたしません。が、あなたの情報等のみを取り除くことができない場合（既に研究の結果が公表されている場合等）は使用させていただき、廃棄できない可能性があることをご了承ください。

国立病院機構大阪医療センター
〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14
TEL (06) 6942-1331 (代)
研究責任者 看護部 東7階 看護師 桂大樹